

大会参加に伴う周知徹底事項

1. 試合を速く進めるために

- ① サインは複雑ものではなくし、かつ速やかに出すよう協力を求める。また打者については打者席内でサインを見る事とし、1球毎にボックスを出てサインを見る事を禁止する。
- ② 投手の不必要なけん制は自粛させる。(例えば離塁していない走者へのけん制など)
- ③ 捕手の動作を機敏にさせる。(速やかなサイン、用具の着脱、バックアップや投手との打合せからの速やかな戻りなど。又、投手への返球は前に出ないで定位置からとする。)
- ④ 投手・捕手のブロックサインは禁止。又、内野手から投手・捕手へのサインは簡単にする。
- ⑤ 内野手が投手に返球する場合、マウンドに持って行かず守備位置からとする。
- ⑥ 打者の打撃継続中は塁上の走者をアウトにしてもボール回しをさせない。
- ⑦ 先頭打者・ベースコーチはミーティングに参加せず、速やかに所定の位置につく。
- ⑧ ファールボールの回収については、1・3塁側はそれぞれのチームで行なう。バックネット方向は攻撃側チームで回収する。
- ⑨ 投手の各回のはじめの準備投球は8球以下で、1分間を超えてはならない。
- ⑩ ボール回しは、守備位置で行い 暴投の時は、ボールを即ピッチャーへ返球の事。
- ⑪ 3アウト後試合球は、投手板付近に置くこと。雨天時は、審判員へ渡す事。

2. マナーについて

- ① 投手のウォームアップ中、打者が打者席付近(ダートサークルの外)でタイミングを計るような行為は禁止する。
- ② 次打者は自軍のウエイティングサークル内で待ち、投手が投球動作に入ったら自身の安全のため素振りをやめ、投球、打球をしっかりと見守る。また、守備を妨害するような行為をとってはならない
- ③ 走者やベースコーチなどが捕手のサインを見て、打者にコースや球種を伝える行為を禁止する。
- ④ ベースコーチが打者走者(走者)の触塁に合わせて「セーフ」のジェスチャーやコールをする行為を禁止する。
- ⑤ 走者を塁に戻すための野手の声かけ、砂かけ行為を禁止する。
- ⑥ 正しい野球をする。(相手をダマス行為、個人攻撃のヤジ、危険なラフプレイ等の禁止)
- ⑦ 本塁打を打った打者の出迎えは禁止する。
- ⑧ バット、ヘルメット等をたたき付けたりする見苦しい行為は禁止する。
- ⑨ 服装の点検を良くしておく。(ボタン・ベルト・スパイクの紐等)
- ⑩ グランド内、ベンチ前に用具等を出しておかない。
- ⑪ 相手チームのシートノック時は、全員ベンチ内で待機する。(先発バッテリーは除く)
- ⑫ 試合中グラウンド内に入る選手・監督・コーチのウインドブレーカーの着用を禁止する。ユニホームの下に着こんでもいけない。(降雨時は、審判員の判断により許可する場合がある。)

3. 規則上特に注意すべき事項について

- ① 投手への基本的なルールを徹底させる。(投手板へのつき方、自由な足の位置、自由な足の踏み出し、軸足の移動とはずし方、投球動作・ストレッチの中断など)

- ② 捕手のいわゆるブロックプレー。
- ③ 走者の野手に向かっての、あるいは足を上げてのスライディング。
- ④ 打者走者のダイヤモンド内に膨らんでの走塁（特にバント後の内野を走る行為）
- ⑤ 走塁を助けるため捕手送球直前のスイングや、打者席から前に出る打者の行為
- ⑥ 死球を得るため、当たりそうな投球から逃げない打者（投球を避ける動作の無いもの）

4. その他

- ① 打者、次打者、走者はもとよりベースコーチ・ボールボーイもヘルメットの着用を義務付ける。
- ② 金属バット及びヘルメット（打者用、捕手用とも）の保守・点検をさせる。
- ③ 試合中、死球などで大きな衝撃を受けたヘルメットは使用させない。
- ④ 試合中、練習中を問わず、捕手が座って投球を受ける場合は必ずマスク（スロートガード付）、ヘルメットなど捕手防具の着用を義務付ける。
- ⑤ 日程、時間に余裕がある場合でもスピーディな試合運行を励行させる。
- ⑥ 投手のウォームアップ終了時、捕手がセカンドに送球する球を注視させる。
- ⑦ ベンチ前のキャッチボールの禁止。
攻撃中、守備中を問わず、グラウンド内での素振り、ランニング、トスバッティングの禁止。
投手のウォームアップは、投手と防具を付けた捕手の1組及び、交代出場予定の野手1組に限りブルペンでのキャッチボールを認める。
- ⑧ 球場での試合前練習は、アップシューズを使用する。
- ⑨ シートノック前、ベンチ入り後にスパイクに履き替える。
- ⑩ 外部から見える箇所の負傷防護のためテーピング、サングラス、マウスピースを使用する場合は必ず試合前（メンバー表の交換時）に審判員に確認・申告する。
- ⑪ 打者・走者・ノッカーは手袋を使用してもよい。色は黒、白、紺もしくは赤をベースに2色までのものとする。
但し、走者が手袋を手に握るだけの行為は禁止する。
- ⑫ リストバンド、リストガードや保護ガードの使用を認める。
色は黒、白、紺もしくは赤色をベースに2色までのものとする。
- ⑬ 試合開始及び終了時の挨拶に、両チーム選手間で奇声を発しないこと。また、本部及び相手方ベンチ前に行って挨拶しないこと。
- ⑭ 球審からボールを受け取る投手、予備ボールを手渡す選手及びバッターボックスに入る打者は、その都度球審に礼をしなくてよい。

附則

1. 2016年2月14日より施行する。
2. 2017年4月9日より施行する。
3. 2018年4月8日より施行する。